

ショップ袋に障害者アート 多治見市美濃焼 ミュージアム



障害者アートを採用したミュージアムショップの
シール＝多治見市東町、市美濃焼ミュージアム

ラッピングシール

多治見市東町の市美濃焼ミュージアムで、障害のある子どもたちが描いた作品を採用したラッピングシールの配布が始まった。ミュージアムショップの袋に貼って彩りを添えるほか、障害者アートへの関心を高める狙いがある。

コンサルティング会社「田辺ライフコンシェルジュ」(多治見市常盤町)が、東濃信用金庫の公益財団法人「とつしん地域振興協力基金」の助成を受け、障害者のアートプロジェクトの一環で実施した。公募で選んだ作品を含む5種類の図

柄をシールにして同館に提供した。

シールは、障害者支援施設に通う子どもたちが合作した絵や、カップケーキのようなキャラクター、涼しげな色彩の図形、「ありがとう」の文字など。買い物袋に貼る約3千枚を用意したほか、先着で約1500人に配布も行う。来場者からは「かわいい」などと好評という。

同館担当課長の光枝美紀さんは「障害者への一方的な支援ではなく、来場者に喜んでもらえるところに可能性を感じている」と話していた。

(稲木悠司)